



●トピックス

地域に開かれた窓口として医療連携を推進

地域医療連携室開設

地域の医療機関、医療福祉施設などとの密接な連携と患者様へのサービス向上をめざして、滋賀医科大学附属病院では本年4月に地域医療連携室を開設、7月1日から窓口業務をスタートさせた。

連携室の主な業務は、地域の医療機関からの特殊検査や診療予約などの紹介受け付けと、紹介元への報告書の送付、逆紹介の推進など。新たに診察・検査依頼書、診察・検査予約票、報告書などを作成、受診状況について「こ来院報告書」をファックスで紹介医師に送信するほか、入院された場合や、転科・退院などの経過についても逐次報告できるようにした。

地域医療連携室長には三ツ浪健一総合診療部長が就任、4名の医療スタッフが連携室のメンバーに加わっていることが大きな特徴で、検査で来院された患者様についても医師が診察（医療面接）を行うほか、スタッフが検査部への案内（エスコート）を行うなどきめ細かなサービスを展開していく。

さらに、病状の安定した滋賀医科大学附属病院の患者様を、地元の医療機関にご紹介する「逆紹介」を推進するため、独自の地域医療機関データベースを整備、県医師会のご協力を得て県内の医療機関を対象に事前に実施したアンケート調査の結果をデータベース化して、自宅周辺の医療機関の紹介を希望される患者様に情報を提供する。「窓口ができたことで、地域の先生方に活用していただきたやすくなるはず」



と三ツ浪室長。今後は医療福祉に関する相談業務や、インターネット等を活用した情報提供サービスの充実をめざして、メディカルソーシャルワーカーの配置なども検討していきたいという。

さらに、どういった患者様を紹介していただくかという「紹介希望疾患と病態の明確化」と、「逆紹介基準の明確化」を最重要課題として取り組み、地域の医療機関との連携による地域完結型医療の実践に向けての活動を推進していく予定である。

地域医療連携室スタッフ

室長

総合診療部長

三ツ浪 健一

副室長

放射線部長

村田 喜代史

医療情報部長

永田 啓

継続看護室看護師長

石井 淳子

医事課長

釣谷 廣

医療担当

総合診療部副部長

寺田 雅彦

総合診療部

松原 英俊

総合診療部

田村 祐樹

看護担当

継続看護室副看護師長

伊波 早苗

継続看護室副看護師長

若林 光子

事務担当

医事課主任専門職員

石井 定夫

主任専門職員付主任

木建 保恵

主任専門職員付主任

西 雪代

